

## 団体名

株式会社サムライコットンファーム

関連 SDGs（ゴールの番号）：11 番、12 番



## 活動内容

江戸時代に一旦消失してしまった「和綿」を復活させて、この品質のすばらしさや日本の農業のありようから、日本の紡績技術の高さをすべて見直し後世に残していきたいという思いが詰まったプロジェクトです。現代日本の課題である耕作放棄地を活用し、農薬や化学肥料を一切使用せず、天然物質に由来するもののみで栽培することで、近代化の中で失った経験や技術や知恵を取り戻す経験とその過程をメーカーとお客様とで共有することで、「モノを大切に作る心」を提供できるアパレルでありたいと願っています。

私たちの「和綿」は、人の手によりひとつずつ、丁寧に完熟の状態に収穫しているため、保温性、吸汗性に大変優れ、非常に柔らかく優しい風合いの生地になります。江戸時代まで日本国内で栽培していたこの素晴らしい和綿を絶やしてはいけないと思っています。

日本の衣料の大半が海外における大量生産された綿に依存しています。その綿のほとんどが化学肥料を大量に使用することで生産農家への健康被害や児童労働や地球環境への悪影響を生み続けている現状を憂い、自分たちに何ができるのかを模索し、無謀と言われる中で始めたのが「サムライ自家製ジーンズプロジェクト」です。一人ひとりができることは小さくても、多くの人が力を合わせればきっと大きな動きにすることができると信じています。

現在、自分たちで栽培した和綿を使用したジーンズを定期的に製作、販売しています。これを継続していくことで、アパレルとしてできる「地球環境」への取り組みの啓もうとなることを願っています。

## 他の会員に対するメッセージ

日本の豊かなアパレルの陰に、世界の犠牲が伴ってはいけない

担当者連絡先：荻野俊子

団体ホームページ：[http://www.samurai-j.com/lineup/japanese\\_denim\\_project/](http://www.samurai-j.com/lineup/japanese_denim_project/)